

5月14日

新規グループ

からくり箱を作ろう

Plan	計画	材料をしっかりとけがく
Do	作業	のこぎり 釘うち
Check	確認	組み立てチェック
Action	見直し	よい点 発表

豊橋少年少女発明クラブ

発明クラブだより

NO. 2

2011
6・18



木工工作の基本であるのこぎりの使い方、くぎの打ち方を学びましょう。



で切り口がなごぼこになる。



のこぎりは後ろに引くときに切れて前だとあまり切れない。



細かいところは、電動のこぎりを使うと早くてきれいに切れる。でも、まっすぐ切るのはコツがあるよ。

無駄が少なくなるように計画を立てるのは楽しい。



のこぎりや金づちを使うのでわくわくしていたが、思ったより、すごく難しい。木を切るのも、釘を打つのも。



協力してがんばり、一番たくさんのかからくり箱をつくることができました。



継続グループ

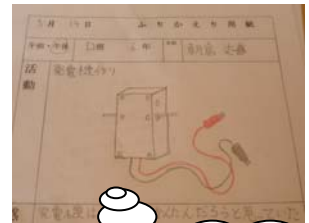
2年目グループ 歩く象の改造

3年目グループ

手回し発電機の作成



グリスの大切さがわかった。スピードを上げて、来月のレースでは勝ちたい。手回しでほんとうに速く回せるのかな？



設計図

クマをメインにしてやったけど、かっこ悪くて、クマには見えない。来月は他の動物に変えよう。

意外と難しそう。発電機でレースをするのはおもしろそう。



ネジを取ったりするのがかたくて大変。頭、体、足を作るのに機械を使わないでやりました。おなかの電池ボックスも背中へ付け替えて大変。



まだ、歩くのが遅いし、顔がうまくつかない。導線を2つにわけるのが難しい。

みんな、苦勞してこの苦勞が大切です。きつと役に立ちますよ。

鈴木剛指導員

象を人間に変える。2足歩行にするには時間がかかりそう。

手回し発電機の制作では、3年目ということで、ハンダ付けや図面の見方はおおよそつかめているが、まだ理解できない子もいた。技術の習得は上がっていて、進んで友達の手伝いをする子もあり、感心できる場面も多くあった。